

## なごみの岬公園

この岬からは、1944年6月29日、日本の汽船・富山丸が米国海軍の潜水艦・スタージョンによる魚雷攻撃を受けて沈没した沖合2キロの地点が見晴らせます。富山丸はこの2日前に鹿児島を出発し、乗組員と兵士合わせて約4600人を乗せて沖縄本島の防衛の増援に向かっていました。護衛艦や徳之島の人々の救助活動にもかかわらず、この攻撃で3700人以上の乗船者が命を失いました。

1964年に建立された慰霊碑へと続く歩道の両脇に置かれた石碑には、犠牲者の名前が刻まれています。富山丸沈没で生き残った三角光雄さんは、遺族や地域住民の支援を得て、この慰霊碑の建立において中心的な役割を果たしました。また、この場所には1944年9月に本土への疎開船・武州丸が沈没した際亡くなった徳之島の子どもたちと高齢者150人の慰霊碑も建てられています。公園内にはさまざまな団体や地域が寄贈した数多くの小さい碑や、オリーブの木などの平和のシンボルが並んでいます。

2004年、この地域はなごみの岬公園と名付けられました（なごみは a feeling of calm という意味）。毎年4月に行われる富山丸慰霊祭には、日本全国から遺族が参列し、平和のために祈りを捧げます。